

**原子力事業者の緊急時対応に係る訓練及び規制の関与のあり方に  
係る意見交換（第10回）（非公開会合）  
議事概要**

1. 日 時 令和5年10月5日（金） 14:00～15:30

2. 場 所 原子力規制委員会 原子力規制庁内会議室

3. 出席者

原子力規制庁 古金谷緊急事態対策監、杉本緊急事案対策室長、  
高須安全規制管理官（専門検査担当）、  
敦澤安全規制管理官（核セキュリティ担当）、  
山口事故対処室長、川崎企画調整官、  
関企画調査官 他6名

北海道電力（株）	担当者3名
東北電力（株）	担当者3名
東京電力ホールディングス（株）	担当者4名
中部電力（株）	担当者3名
北陸電力（株）	担当者2名
関西電力（株）	担当者4名
中国電力（株）	担当者3名
四国電力（株）	担当者5名
九州電力（株）	担当者4名
日本原子力発電（株）	担当者2名
電源開発（株）	担当者2名
原子力エネルギー協議会	担当者3名

4. 議 題

（1）核物質防護事案を起因事象とした緊急時対応に係る訓練の課題について

5. 配布資料

資料1 PP連携訓練試行に向けた課題の検討状況について（原子力エネルギー協議会）

資料2 PP連携訓練試行に向けた対応状況について（中国電力株式会社）

資料3 核物質防護事案対応で取り扱う情報の分類と共有の流れ（核セキュリティ部門）

6. 議事概要

- (1) 中国電力から、PP 連携訓練試行に向けた課題の検討状況について、資料 1 に基づき説明があった。
- (2) 中国電力から、PP 連携訓練試行に向けた対応状況について、資料 2 に基づき説明があった。
- (3) 原子力規制庁から、核物質防護事案対応で取り扱う情報の分類と共有の流れを資料 3 に基づき説明した。
- (4) 資料 1、資料 2 及び資料 3 に基づき核物質防護事案を起因事象とした緊急時対応に係る訓練の課題について意見交換を行い、共通する課題については、PP 連携訓練の試行結果を踏まえて適切な時期に会合で議論することとなった。

以上